

韓国環境部プレスリリース 2020年3月18日付

### 京畿道の野生イノシシから ASF ウイルス検出（野生イノシシ 390 例目）

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do;jsessionid=6p4-4nCp6O-Uf+3iRnX-6T4T.mehome1?pagerOffset=0&maxPageItems=10&maxIndexPages=10&searchKey=&searchValue=&menuId=286&orgCd=&boardId=1355215&boardMasterId=1&boardCategoryId=&decorator=>

□環境部所属国立環境科学院(院長チャン・ユンソク)は3月17日に京畿道（キョンギド）漣川郡（ヨンチョンゴン）旺澄面（ワンジンミョン）民間制限線内で発見されたイノシシ死体1個体から ASF ウイルスが検出されたと3月18日明らかにした。

□国立環境科学院は3月18日死体1個体から ASF ウイルスを検出したことを関係機関に通知した。これで華川郡（ファチョンゴン）158件、漣川郡（ヨンチョンゴン）138件、坡州市（パジュシ）72件、鉄原郡（チョルウォンゴン）22件、全国で合計390件のイノシシ ASF 陽性事例となった。

○野生イノシシ ASF 標準行動指針により試料採取後現場消毒と共に死体は処理された。

□国立環境科学院は「今回陽性となった死体は、環境部捜索チームが山の捜索中に2次フェンス内で発見した。発見場所は、3月17日陽性になった死体発見地点から30m離れた場所であり、この地域では感染死体がさらに出てくる可能性が高く、捜索を強化して死体を速かに除去する」と明らかにした。

以上